水のう設置手順

①

①材料を用意します。

・ブルーシート　・段ボール

・45ℓゴミ袋　・スーパーレジ袋

②

②水のう設置前

③

③ブルーシートを敷きます。

⑩で段ボールがブルーシートで被えるように
道路側のシートを長めにしておきます。

④

④段ボールを設置します。

段ボールとの間に隙間ができた場合は、折り畳んだ
段ボール等を隙間に詰めます。(赤破線部)

⑤

⑤45ℓのゴミ袋を二重にします。

・一つの段ボールに2枚のゴミ袋が必要となります。

⑥

⑥段ボールの中にゴミ袋(二重)をセットします。

⑦

⑦セットしたゴミ袋(二重)の中に水を入れます。

・道路側の水位が上昇して水のうが転倒しないように、
しっかり水を入れてください。(赤破線部)

⑧

⑧水をいれたゴミ袋(二重)をシッカリ結びます。

⑨

⑨段ボールを閉じます。

・段ボールを積み重ねる場合は、ガムテープ等でシッカリと
閉じてください。

⑩

⑩段ボールをブルーシートで覆います。

・ブルーシートで被う際は、水が浸入しないように丁寧に被って
ください。

⑪

⑪スーパーのレジ袋を詰めます。

・端部からの水の侵入を防ぐため、端部にレジ袋を入念に詰め
込みます。

⑫

⑫水のう設置完了

⑬

⑬水のうの使用後について

・水のうで使用した水は、その場で側溝等に流して処理して
ください。

⑭

⑭水のうの使用後について

・水のうで使用した水の処理後は、ゴミを分別して処分して
ください。

[水のうのメリット]

・土のうと違い、その場で軽い材料を使用するので容易に設置できます。

・使用後の片付けについて、水のうはその場で水を抜くことにより重量が軽くなり片付けが容易となります。また、使用材料はゴミとして処分できるため、保管場所が不要となります。一方、土のうは重く移動が容易にできず、保管場所が必要となり、保管状況次第では袋が紫外線により劣化するため、袋の入れ替えが必要となります。注:ブルーシートの保管場所は必要となります。

・段ボールを積み重ねることで、容易に水位上昇に対応することができます。